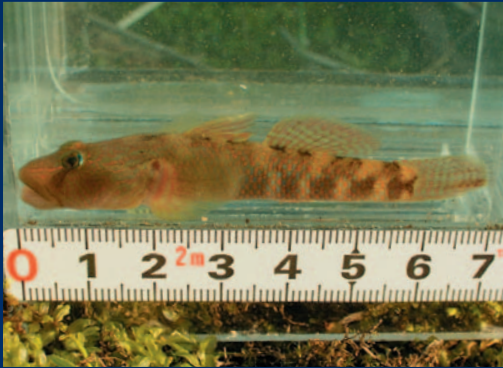
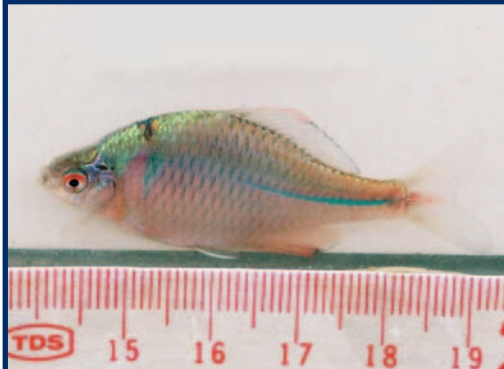


●魚介類 写真図鑑

シマヨシノボリ	大きさ：約7cm
	■解説 ほほに赤いシマもようがあり、胸びれ付け根に薄い三日月形のもようがあります。また、尾びれ付け根の茶色いもようは「く」の字形です。一生の間に海と川を行き来するものと、湖と川を行き来するものがあります。
オイカワ	大きさ：約15cm
	■解説 底生動物、藻などを食べています。通常は体に目立った模様はありませんが、春から夏にかけての産卵期になると、オスの体には赤色や青緑色のきれいな模様が見られます。通称「ハヤ」と呼ばれている魚の一つです。
アユ	大きさ：約10～30cm
	■解説 天竜川では、なわばりをもつアユの習性を利用した友釣りやエサ釣りが盛んに行われています。おもなエサは川の石についたコケで、コケを食べた場所にはササの葉状のあと（はみあと）が見られます。 アユのはみあと 

ギンブナ	大きさ：約25cm
	■解説 川岸の流れのゆるやかな場所に群れですみ、底生動物や藻などを食べています。メスしかなくて、卵は他の魚の精子の刺激を受けて発生する、変わった特ちょうを持っています。
タイリクバラタナゴ	大きさ：約7cm
	■解説 体の形はひし形で、観賞用にも用いられる魚です。もともと中国などに分布する外来魚で、小動物や藻などを食べています。産卵時期には、オスの体は青緑色や赤色のきれいな色になります。
ヌマチチブ	大きさ：約15cm
	■解説 一生の間に海と川を行き来する回遊魚です。体は黒っぽく、頭の横には白い斑点が多数あります。胸びれの付け根はオレンジ色で、赤い横線が入ります。藻や底生動物などを食べています。